



Vol.52 春号
発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2-3
CiCビル3F 富山市国際交流センター内
TEL (076)444-0642 FAX (076)444-0643
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



未来へ

みんな かわいい！
みんな たいせつな 子どもたち！
…夢を育んで…

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会

新春国際交流のつどい 2006

1月14日 CiC 5 F 多目的ホール



「人形劇」を観たあとで人形たちと一緒に…



紹峰&ポール「青春アミーゴ」

毎年恒例の「新春国際交流のつどい 2006」は、今年でもう13回目となりました。富山在住の中国・米国・インド・メキシコなど17カ国の外国の人たちと会員らの130人が親睦を深めました。祝賀の舞・日本舞踊、八嶋健三会長のあいさつの後、参加者はお餅やお菓子などを食べながら、出し物や友人との会話を楽しみました。

プログラムでは、「世界の国々から…いろいろな新年の迎え方」で、各国のお正月の過ごし方を紹介してもらって、国によっては世界の新年と自国のお正月をそれぞれに祝って、その文化を大切にしている国がたくさんあるということを知って興味をもったり、ステージでは、あかり小劇場の出演による「人形劇」や、拍手喝采が止まなかった「メキシコの踊り」のほか、「Old MacDonald had a Farm」の曲に合わせて子ども達が踊ったりして楽しく進められました。少し歌の練習をした〈IMAGINE〉〈世界にひとつだけの花〉をみんなで歌いました。一番の盛り上がりは、「お楽しみ抽選会」でした。景品は会員が持ち寄ったささやかな物ですが『ヤッター!!』と喜んでハシャイだりして会場は大賑わいでした。

また、今年から外国の人たちも参加費が必要となったので参加者について心配があったのですが、たくさんの参加者であべかわ餅コーナーは、大人気で大忙しとなり、また、書道コーナーも日本の伝統文化に触れて興味を持って「書初め」をする人たちで賑わっていました。



祝賀の舞



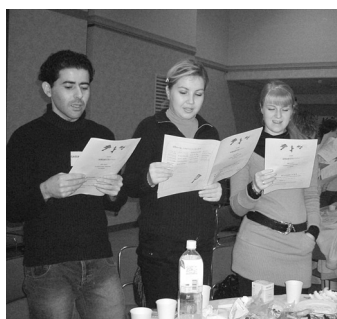
みんなで一緒に！



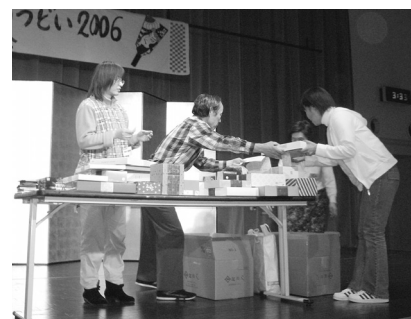
中国の仲間たちの歌



メキシコの踊り



みんなで歌おう！「IMAGINE」



お楽しみ抽選会

海外研修「台湾」報告展

昨年10月29日～11月2日に実施した平成17年度海外研修「台湾」の報告展が1月10日(火)～14日(土)までCiC 3 F交流広場で開催されました。視察先や台湾の町の様子などの写真を展示してビデオを流しました。また、報告書も作成しました。

姉妹友好都市委員会

募金協力に再度のお願い!!

ダーラム市富山姉妹都市パビリオンの建設は、資金が不足して未だに着工できません。パビリオン建設費用総額216,972ドルに対して39,934ドルの資金が不足しております。

皆様のあたたかいご理解で、再度の募金にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

講演 「日本の出入国管理政策について」

講師 片桐 秀昭氏（名古屋入国管理局富山出張所所長）



国際交流の活発化、航空機の高速・大型化などに伴って、国境を越える人たちが増加しています。

国際化時代の中で、日本は世界に向かってできる限り扉を開くようにしていますが、規制緩和が進められて人の交流が活発になればなるほど出入国管理の仕事は一層重要になってきています。

すべての人の出入国の管理：国境を越える人々に対してそのスムーズな移動のために…

外国人の在留の管理：正しい在留資格と在留期間…

外国人の退去強制：不法就労、密入国、犯罪…

出国命令制度：不法滞在者の自発的な帰国促進のために…

難民の認定：国際社会の一員として…

外国人登録：外国人登録証明書…

人身取引対策：人身取引防止のための取組み…

第3次出入国管理基本計画：平成17年3月に策定…

余寒の厳しい時期でしたが、多くの参加者（23人）がありました。日ごろ入国管理に携わる方のお話を直接聞けるチャンスなど少ないので、参加者たちは興味深く熱心に聴講し質問もたくさんありました。講演の後、懇親会では会員同志の親睦を深めました。

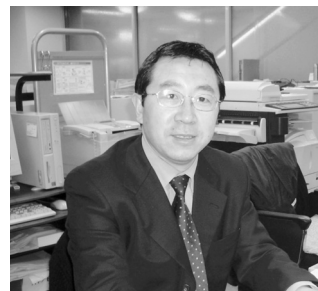
…TCAカレッジに参加して…

- ・旅行先でパスポートを無くしたり、盗られたり、或いは犯罪に巻き込まれた場合などの対処の仕方について勉強になった。
- ・不法就労、不法滞在、不法残留、密入国を試みる者が絶えず、さらにテロや国際組織犯罪、麻薬など日本の安全が損なわれる不安が高まる現状を再認識し、入国管理の重要性を新たに出来た。
- ・講師より『初めから犯罪目的で入ってくる人は少ないので、生活している中で、困難な場面にいくつも遭い、間違っただ道に進んでいく人がいると思われる。そうなる前に、そうならないようにできるのが国際交流協会なのではないか』と言われた。まさしくそのとおりで、協会の大きな役割の中の一つであると再認識した。 etc…

総務企画委員会

さらなる交流を…

張 曉鐘 氏



秦皇島市日本語研修生として平成17年9月28日～平成18年2月27日まで富山市に滞在されました。

「百聞は一見に如かず」という言葉はよく言われますが、富山での研修を経て、もっともだと感じました。

豊かな自然、おいしい水、新鮮な海産物、伝統文化、質の高い教育・住環境、完備された都市インフラ施設、親切的な富山市民、調和で安定的な市民生活、一々見たり、聞いたり、体験したりしました。いずれも深い印象を与えられました。もちろん、生まれて初めての大雪をも体験してびっくりしました。豪雪は市民生活に不便をもたらしたが、同時に「雪の壁」の立山絶景をも作り上げたのではないのでしょうか。大自然に恵まれている富山には数多くの素晴らしい物事が揃っているからこそ、「日本一の住みやすいところ」と言われたのでしょうか。

富山市を日本の縮図だと見れば、日本国民が勤勉と努力によって、第二次世界大戦後の焼け野原から経済社会を飛躍的に再建して、豊かで、繁栄の先進国に発展した現実を自分の目で確かめられました。

富山の他に、友人たちの案内で、東京、大阪、奈良、金沢などを見学して、大自然や都市環境の美しさに感じました。経済の高度成長を遂げたにもかかわらず、国民全体の環境保護の意識が非常に高く、みんなが自然環境を大切にしていって、環境保護や資源保全の措置もしっかりされてきました。これは、経済成長している中国にとっては、よく学ぶべき点ではないかと思います。

日本滞在中、古都から大都会まで見学したり、日本人の日常生活を観察したりして、日本人は伝統文化と現代文化、西洋文化と東洋文化をうまく融合しているし、独自の伝統や「しきたり」も維持してきたと強く感じました。日本文化の基盤は中国古代から伝承されたと言われていますが、長い歴史の中で日本は適時的に外来文化を普遍的なものとして受け入れてきて、混じり合って、独特の日本文化を発展してきました。日本文化は多元性に富んでおり、華道、茶道、庭園など洗練された文化や芸術は、質素、優雅、気品にあふれていて、日本人の勤勉、協力的、親切の国民性を育成したのではないのでしょうか。

研修中、日本人が仕事を大切に、段取りをきめ細かく行う事や、職場で知らない人に会っても丁寧に挨拶することや、お客様に対する素晴らしいサービスは日本社会の人と人、人と自然の調和を心がけている事を強く感じる事ができました。日本に住んでいる外国人との間も、さまざまな国際交流活動によって、相互理解と異文化の融合を図ろうとしている事がうかがえました。

富山市と秦皇島市は友好都市関係を結んで今年25周年を迎えます。友好関係を樹立してから、両市は経済・産業・文化などさまざまな分野で交流し、市民レベルの国際交流団の派遣や、秦皇島から研修生の受け入れなど積極的に交流活動をしていました。しかし、近年来、相互交流は昔より少なくなったような気がします。経済分野における交流もいまだに活発になっていないようです。富山市とは、それぞれの相違点もあるが、似ているところも多く、双方は相互補完性があり、交流の潜在力はまだ非常に大きいと思います。

多国言語文化交流クラス

ミャンマー&ミャンマー語

2月4日

講師 ニエット・ニエット・ウィン氏(富山大学漢医薬学総合研究所研究留学生)

ミャンマー連邦は、年配の人たちの間では旧国名「Burma」の馴染みもありますが、1989年6月から「Myanmar」へ国名が変更されました。ノーベル平和賞受賞のアウンサンスーチーさんの民主化運動などからミャンマーのことを知ったという人もあります。



宗教は自由ですが、人口の80%以上が仏教徒で人々の一日はお祈りで始まり生活のリズムは仏教の上にあります。毎朝、たくさんの坊さんが町中を歩いて食べ物などの提供を受ける姿を目にしますが、これは貧困の人たちを救うため、寄附をするという教えからで、仏教は日常生活に大きな影響を与えています。また、ミャンマーの人々にとって「八曜日」も生活の一部です。「誕生日は？」と尋ねると「〇〇曜日」と答え、名前は生まれた日の曜日によって使われる字が決まっています、それに従ってつけられ、お祈りも自分の誕生曜日の祭壇の前に座って祈ります。ビルマ暦のお正月は、今年は4月17日です。年の終わりを祝って清めの水をかけあう祭「ティンジャン」はよく知られていますが、お正月の間はお年寄りの人を大切に、生き物は殺さないなど静かに過ごします…と。

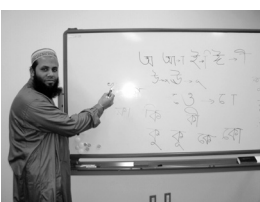
ウィンさんは、民族衣装ロンジーを着てパワーポイントを駆使しながら、自国についてたくさんのことをていねいに紹介してくださいました。

バングラデシュ&ベンガル語

3月4日

講師 ホサイン・MD・ファルク氏(富山大学理工学研究所研究留学生)

バングラデシュ(バングラ=ベンガル、デシュ=国、「ベンガル国」という意味)は、東パキスタンが1971年に独立した比較的新しい国です。日本の1/5の面積に1億4,400万人と世界で9番目の人口、人口密度は1,002人でとても高く、しかし識字率は43.1%。



1,000人当りの出生率は30.01人、平均寿命は62.08才です。公用語はベンガル語ですが、英語で話す人が多い。

バングラデシュの食は、肉も魚も野菜も果物も豊富です。クブモジャ(とてもおいしい！)

お酒が無いのは、日本人にはちょっと寂しいかも…。

敬虔なイスラム教徒のファルクさんは、パンザビにトッピイのスタイルで、まだ、人が集まらない会議室で静かに祈りをされていました。イスラム教では、1日5回のお祈りをするのだそうです。

平成17年度 中国語会話集中講座開講

中国語会話能力の向上を目指す受講者たちは、毎回のように参加して会場はいつもいっぱいでした。

- | | | | |
|-----|-------|-------------|---------------|
| 第1回 | 3月4日 | 10:00~12:00 | 湯 老師 |
| | 入 門 | | 「正しい基本的な発音」 |
| 第2回 | 3月4日 | 13:30~15:30 | 胡 老師 |
| | 中 級 | | 「老師を体験してみよう」 |
| 第3回 | 3月11日 | 10:00~12:00 | 応 老師 |
| | 入 門 | | 「楽しい会話をしましょう」 |
| 第4回 | 3月18日 | 10:00~12:00 | 郭 老師 |
| | 特別講義 | | 「中国の“今”を見る」 |
| 第5回 | 3月18日 | 13:30~15:30 | 銭 老師 |
| | 初 級 | | 「耳を使って即問速答」 |

英語スピーチと討論の会(ESD)

1月例会 1月10日 18:30~20:00

テーマ 「The Amazing Power of Words」

スピーカー 寺尾 純氏(桜井高校教諭)

最近、読んで感銘を受けた江本勝の著書「自らの伝言」を通して水の持つ驚くべきパワーについて話をしたい。

著者の研究グループは、水を氷結させ、その結晶を写真に収めた。汚染された水、音楽を聞かせた水、容器の内面に「ありがとう」や「殺す」など意味を持った言葉を貼った容器に入った水は、驚く程の違いの結晶構造になってしまう等、非常に興味深い反応をする水は人間の姿をまるで映し出しているかのようである。



講師は、「私たちは水に対して畏敬の念を持ち、もっと深く水の重要性とありがたさを自覚していく必要がある」と訴えられました。

2月例会 2月14日 18:30~20:00

テーマ 「Let's discuss about China. Based on Jung Chang's "MAO The Unknown Story"」

スピーカー 若林守光氏(国際教養委員会)

ユン・チャン(Jung Chang)著、土屋京子訳「マオ」上・下、講談社 を読んでその内容をかいつまんで紹介し、みんなで討論したい。



「マオ」とは、Mao Tse Tung=毛沢東のこと。著書のユン・チャンはWILD SWANで有名であるが、今回は中国での徹底した現地調査に基づいて記述されているとのことだ。

鉄のカーテンの向こうで何が起きていたのか？ 文化大革命とは何であったのか？ 共産主義とは？ 社会主義とは？

著者の調査による「新しい事実」の提示とそれを巡って、久し振りに「骨太」の議論が行なわれました。

3月特別例会 3月14日 18:30~20:00

テーマ 「Marine environmental issues and NOWPAP activities.」

スピーカー Mr. Alexander Tkalin氏(NOWPAP富山事務所長)

NOWPAPは北西太平洋の環境保全のための行動計画として国連環境計画(UNEP)の一部門として活動をはじめたものです。



- 1 海洋廃棄物(魚網、プラスチック、PETボトルなど)
- 2 海洋藻類の異常繁殖(赤潮など)
- 3 陸地ベースの廃棄物(生活廃水、農薬、産業排水など)
- 4 黄砂、大気中SO₂などによる汚染
- 5 タンカーなどからのオイル流失
- 6 バイオマスの異常繁殖(クラゲなどの異常発生、海藻類の減少など)

このような海洋に関するさまざまな環境要因をモニターし、研究し、さらには除去のための活動を進めるために富山と韓国の釜山に事務所が設けられています。

政府、学会、産業界、市民生活の各方面において海洋汚染に注意し活動することをすすめています。

日常的には、浜辺のゴミ拾い、漁業者が網やクラゲを収集する、ナホトカ号事件のようなオイルの回収と海岸の清掃などの運動への参加、プラスチック廃棄物を捨てない、などの活動をしてほしいと思います。

出席は約30名で、少し専門用語も入りましたが分かり易く説明され、活発な討論もおこなわれました。

これらの講話・座談・討論などすべて英語で行なわれました。

ホームビジット

普段着でおむかえして…

1月21日 会員 中山あけみさん

1月の寒い日、富大留学生センター日本語研修コース受講者のホームビジット受入れをしました。

ドキドキしながら待ち合わせの場所へ。ベトナムのファムさん（女性）、ネパールのプナンさん（女性）、中国の張さん（男性）。「はじめまして、！」三人とも、とても日本語が上手でびっくりしました。その日は、丁度、私の開いている英語教室（ラボ・パーティー）がある日だったので、日本の子ども達とふれあうのも良い機会だと思い、午前中は親子英語教室で歌やダンスを楽しみました。ファムさんは、ベトナムのお母さんに預けて来た2才の我が子を思い出してかとてもうれしそうでした。

ランチのメニューは節分も近いので、「まき寿し」and「野菜たっぷりのしゃぶしゃぶ」に。我が家のせまい台所は活気あふれるクッキングスタジオ。「写真で見るのと同じにできた、！」と大喜びの「myまき寿し」をみんなで「恵方をむいてまるかじり、！」しました。異文化交流の第一歩～お客様扱いではなく普段着でおむかえする喜び。相手のお国がらを感じながら～日本人である自分を改めて感じました。厳しい北陸の冬をさわやかな風ががふぁ～と、とおひめけた一日でした。みんなにステキな春が来るように、！パワーをもらったのは私の方です。ありがとう、！また、遊びに来てくださいね、！待っていますよ。…数日後、お手紙をもらいました。



親子英語教室にて

料理交流会



カナダ料理

講師
デイビット フリードマン氏
(カナダ出身 英語講師)

2月16日 奥田公民館

メニュー

鮭のアルミホイル焼き、クランベリーライス
メープルサラダ

デイビットさんは、料理が得意で交流パーティーなどでも腕前を発揮して喜ばれています。

クランベリーライスは、玄米とクランベリー（ブルーベリーに似た木の実）を炊いた後に、ワイルドライス（デイビットさんがカナダから持って来たもの）、炒めた赤玉葱、アーモンドの細切りを混ぜた香りの良いチョッと変わったヘルシー御飯です。サラダは、メープルシロップを使ってドレッシングを作りました。

この日は、テレビの取材もあって調理場は大にぎわいでした。

古切手・使用済みプリペイドカードを届けました！

3月15日、富山県ボランティアセンターに皆様からご寄付いただいた古切手9.5kgと使用済みプリペイドカード438枚を届けました。古切手は社団法人日本キリスト教海外医療協会を通じて、海外への医療従事者の派遣や人材育成協力などに使われ、現地の草の根の人々の自発的な努力を側面から支えます。

使用済みプリペイドカードは、ジョイセフを通じて、「途上国の草の根保健ボランティアに再生自転車を贈ろう運動」に活用されます。

皆様のご協力に心から感謝いたしますとともに、今後とも収集へのご協力をお願い致します。

ボランティア委員会

折り紙教室



講師
まつたにみき お
松谷幹夫さん(会員)

2月19日
当センター

富山在住の外国人と会員ら12人が参加しました。一輪挿しに入れるようなかわいい「花」と「花瓶敷き」を作りました。きれいな色の色紙を選んでなれない手付きで折って「あやめ」や「つりがね草」「チューリップ」の花を作りました。

子供たちも細かい作業に挑戦してかわいい花の完成に大喜びでした。

もっと知ろう世界の街「フランス」



講師
スイル アントノビッチ氏
(フランス語講師)

3月12日
当センター

フランスといえば、ワインが私たちにも身近です。フランス人にとってワインはなくてはならない飲物です。ランチでも飲み、もちろんディナーでも…が飲酒運転も多いので困る、と。

民衆のために戦ったフランス革命で歌われた「ラ・マルセイエーズ」は、国歌となっています。若者たちは、政治に興味を持ち激しく議論しあって盛り上がるそうです。

文化交流委員会

お知らせ

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643

行 事	日 時	と ころ	担当委員会	会 費	対 象
お花見交流会	4月11日(火) 11:00~14:00	富山城址公園(雨天CiC)	ボランティア	400円	会員・外国人
英語スピーチと討論の会例会 「Resource wars & Oil Peak」 講師 Mr.CALEN KEATH	4月11日(火) 18:30~20:00	当センター	国際教養	無料	会 員
月季の会(開講)	4月14日(金) 14:00~16:00	当センター	—	無料	—
理事会	4月20日(木) 14:00~	当センター	—	—	—
総会・記念講演会・懇親会	5月20日(土) 14:00~	CiC多目的ホール	合 同	懇親会3,500円	会 員
外国人のための日常生活勉強会	5月30日(火) 14:00~15:30	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	無料	外国人
多国言語文化交流クラス 「スロバキア&スロバキア語」 講師 Mr.Boris Priesol	6月3日(土) 13:30~15:00	当センター	国際教養	200円	会 員
料理交流会「日本の家庭料理」	6月15日(木) 10:30~14:00	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人

平成18年度 富山市民国際交流協会総会

と き 5月20日(土) 14:00
ところ CiCビル5F 多目的ホール
・総 会
・記念講演 講 師 小山 紳一郎氏
(勸学寮国際交流協会 企画情報課長
テーマ『多文化共生のまちづくり』
・交流レセプション 16:45
富山エクセルホテル東急レストラン「リコモンテ」
参加会費 3,500円
※多くの方の出席をお待ちしております。

海外研修参加者募集

(秦皇島市友好締結25周年記念)

と き 平成18年8月27日(日)~9月3日(日)
訪 問 先 中国秦皇島 ~黄龍~九寨溝~成都~上海
参 加 費 205,000円(予定)
申込締切 6月30日

平成18年度講座開講

協会主催講座

講 座	実施時期および日時	受講料 (年 額)
ポルトガル語(入門)	毎週水曜日 18:30~20:00 5/17(水)より3月まで全30回	6,000円
中 国 語(中級)	毎週金曜日 18:30~20:00 5/19(金)より3月まで全30回	6,000円
ハ ン グ ル(入門)	毎週金曜日 17:45~19:15 5/19(金)より3月まで全30回	6,000円
ハ ン グ ル(初級)	毎週金曜日 19:20~20:50 5/19(金)より3月まで全30回	6,000円

学習日本語支援教室 勉強お助け隊	毎週木曜日 15:00~17:00 週1回	無 料
	毎週日曜日 10:00~12:00 週1回	無 料

国際教養委員会主催講座

講座クラス名	研修実施 日・時
1. 英語通訳・ガイド実践クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
2. 国際交流のための英語クラス	毎月第2土曜日 10:00~12:00
3. 英語によるスピーチと討論の会(E.S.D)	毎月第2火曜日 18:30~20:00
4. 日本文化英語交流クラス	毎月第3土曜日 10:00~12:00
5. 日本語ボランティア養成講座(春・秋クラス)	第1.3木曜日 10:30~12:00
6. 中国語入門クラスA	毎月第1土曜日 10:00~12:00
7. 中国語入門クラスB	毎月第2土曜日 10:00~12:00
8. 中国語初級クラス	毎月第3土曜日 13:30~15:30
9. 中国語中級クラス	毎月第4土曜日 10:00~12:00
10. ロシア語入門会話クラス	毎月第2土曜日 13:00~15:00
11. 多国言語文化交流クラス	毎月第1土曜日 13:30~15:00

受講者募集!

研修場所 当センター

平成18年度

語学(災害)ボランティア養成講座(中国語)開講

災害発生後の生活相談等に関する基本的な知識を学び、災害復興時などに活動する語学ボランティアを養成する「語学(災害)ボランティア養成講座」(中国語)受講生を募集します。

応募条件 次の①~③の条件すべてに該当する方対象です。
①災害時に語学ボランティアとして活動する意欲のある方。(ただし、ボランティア活動を義務付けるものではありません。)
②18才以上(高校生除く)の富山市内在住の方。
③ピンイン等の初歩の中国語知識のある方。

日 時 6月~12月の第2、第4土曜日 13:30~15:30
開講予定日 6/10 6/24 7/1 7/8 8/26 9/9
9/23 10/14 11/18 12/2 (全10回)

場 所 富山市国際交流センター会議室(駅前CiCビル3階)

受 講 料 無料(ただし教材費10回分 500円。)

募集人数 20名

お問い合わせお申込み 富山市民国際交流協会まで

〒930-0002 富山市新富町1-2-3 CiCビル3F

TEL (076)444-0642 FAX (076)444-0643

E-mail info@tca-toyama.jp

編集後記

2月のある日、Nさん(タイ出身)が「長男の父親(離婚した夫)のわかるもの(戸籍)が学校で必要なので教えてほしい…」と訪ねて来ました。「先日、KさんもWさんも離婚したので子ども達を連れてタイへ帰った。あの子ども達かわいそう…」と。「みんな努力も我慢もたくさんしたのに難しい。私も離婚して子供がかわいそうだったので、日本社会でガンバっているが、本当に大変。」と悲しそうな目をして話しました。そして「いつもだれかにたくさんのご話したい…」と言いました。

当協会の外国人相談員 銭輝さんは、4月から「月季の会」を開催されます。最近の外国人による事件について、日本に住む外国人として心が痛み何か出来る事が無いかと考えたそうです。

「月季の会」は、月に1回当協会の会議室で気軽に集まって「本音で何でも話し合おう」という会です。母国語で話すチャンス 一人で思い込めない ストレス解消 日本社会に馴染むには… 母国の新しい情報もお互いに交換する みんなで出来るだけ楽しく日本で生活しましょう…そんな場になりたいと。

現在、日本に暮らす外国人は約200万人、全人口の1.5%になり、日本社会は「多文化社会」へと移り変わりつつあると言えます。

日頃から富山市民国際交流協会は、外国人との共生社会の実現に向けて様々な情報提供を行ったり、外国人からの相談にスムーズな対応が出来るようにしていきたいと心掛けております。

広報委員長 岡田昌代